

いせさきしサポートファイルの特徴

このサポートファイルは、育ちの記録をまとめ、さまざまなライフステージの中でご本人とその家族が関係機関と連携をとりながら、安心して過ごせることを願って作成しました。

○どんなライフステージからも記入できるよう、3ステージに分けられています。

幼児期

学齢期

成人期

どのステージもご本人のことを知ってもらえるためにプロフィールや、関係機関（幼稚園・保育園、学校、医療、療育、相談先等）、発達の記録、現在の状況が記入できます。



○関係書類と一緒に管理できるファイリング式です。

○記入する内容は、ご本人の重要な情報です。保管には十分注意してください。

サポートファイルをご活用ください

- ・記入するとご本人の情報がまとまり、必要なことが伝わりやすくなります。
- ・記録をまとめておくの関係する人との話し合いもスムーズになります。
- ・必要な情報が的確に伝わると、適切な支援や一貫した支援が受けやすくなります。
- ・家庭以外の場所での子どもの姿も貴重な情報です。先生や支援者の方からのメッセージやエピソード記入欄をご利用ください。
- ・緊急時にも適切に情報を伝えることができます。



☆まずは記入しやすいところから書き始めてみませんか☆

◎こんな心配、困った経験ありませんか？

～学齢期版サポートファイルをご活用ください。～



- ・発育の経過を出生時期にさかのぼったところから伝えるのは大変。記憶もあいまいになってきている。
- ・こどもの情報を伝えるのって難しい！なかなか分かってもらえない！



<ここを記入すると伝えやすい！>

- プロフィール ●サポートマップ
- からだの記録 ●こどもの様子



- ・今までに行ったことのある相談機関や医療機関、行った時期も伝えた方がいいかしら？



<ここを記入すると伝えやすい！>

- 教育歴 ●療育歴 ●相談の記録
- 障害者手帳判定歴 ●受診歴・検査歴



- ・学校や先生が変わると、必要だった支援や、子どもに合った支援が途切れるのではないかと心配。
- ・担任の先生との相談では、どんな情報があれば子どものことを理解してもらえるのだろうか。



<ここを記入すると伝えやすい！>

- 学校や家庭でのエピソード ●余暇・習い事
- 支援者や先生によるメッセージ

